

都立園芸高等学校全日制課程 グランドデザイン

【生徒/学校の現状】

- ・女子のなりたい職業要素を多く含む学科を持つ本校は、入試倍率が比較的高い。そのため、女子生徒の割合が高い。
- ・学力差が拡大している。一方で底上げ教育に力が注がれ、屋根上げ教育にいたるまでの余力がない。→生徒モチベーションの低下を招きかねない。学力の高い生徒がいる反面、低学力生徒も多く、「私立高校無償化」政策に伴いその傾向が増加。
- ・様々な背景から学習困難及び支援を必要とする生徒が増加傾向にある。→習熟度別学習や支援員の配置が追いついていない。指導ノウハウや評価基準などが学校内で共有化できていない。発達障害や肢体不自由者などの入学が増える傾向にある。
- ・自学自習方式による朝学習は、基礎学力向上への取り組みが、学年を重ねるごとに工夫が必要となっている。
- ・朝学習における基礎学力向上への取り組みが、学年に委ねられている傾向にある。
- ・自分の将来に直結した資格以外も、頑張るべく多く取得する傾向にある。(※アグリマイスターのポイントを上げることとの関連性)
- ・現在のカリキュラムが、広い農場を生かし切れていない。
- ・自己肯定感が低く、自分を過小評価する生徒が多く、そのためコミュニケーションが苦手な生徒が多い傾向にある。
- ・体力測定結果は、全都的に見ると高いとはいえないが、握力や作業的な持久力においては入学後向上する傾向にある。
- ・マスコミや外部団体からの注目度が高い傾向にある。

※アグリマイスター顕彰制度とは、全国の農業を学習する生徒の自主的・主体的な学習や競技会、資格取得等の積極的な取り組みを推進し、進学や就職活動につながる顕彰制度。ポイントをためる事で、アグリマイスタープラチナ、ゴールド、シルバーに認定される。ランクが高くなるほど、専門大学などへの進路が有利になる。

【予想される社会の変化】

- ・少子高齢化による日本人の人口が減少、特に地方の農業などの後継者不足が加速。
- ・人工知能(Artificial Intelligence)が特異点(Singularity)を超える可能性も見えてきた。
- ・ネット社会がさらに広がり、ごく少数の個人が短時間に多額の収入を得たり、あふれる情報から有益な情報を得る能力が問われるようになる。
- ・一部大企業において、働き方改革が進む一方、中小企業でのシワ寄せ(後退)が進む。
- ・介護・医療・飲食業分野における人手不足
- ・格差社会の拡大と、貧困家庭の継代化
- ・環境社会の拡大による今後の農業の在り方→植物工場など(農業の機械化)
- ・在日外国人の増加による各産業人口の変化
- ・地方の大学が、つぶれて合併している(公立や私立)。また、都心の大学は定員増が認められず。

【校是】

「勤勉・勤労」

【教育目標】

- (1)幅広い知識と教養、農業に関する専門的スキル、科学的態度を身につけ、自ら考え行動する態度を養う。
- (2)互いの人格を尊重し、思いやりをもって行動する態度を養う。
- (3)自立及び自律の精神を培うとともに、勤労を重んじ主体的に社会の発展に寄与する態度と健やかな身体を養う。
- (4)伝統・文化を尊重し、その継承と新しい文化の創造に貢献する能力や態度を養う。
- (5)生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。

【学校の教育目標を達成するための基本方針】

- (1)基盤教育と専門教育の改善充実および身につける資質・能力の到達目標の明確化を図る。
- (2)学校・家庭・地域との協力体制の下、学校全体の教育活動をおして道徳教育の充実を図る。
- (3)農業実習、部活動の充実及び奉仕活動、地域連携活動の推進を図る。
- (4)伝統・文化の継承に係る教育活動及び広報活動を推進する。
- (5)本校の教育財産を活用し、人と人、人と自然のあり方を追求する個性豊かな教育活動を展開する。

【校是】「勤勉・勤労」

【園芸高校生として備えるべき資質・能力】

I 学力面

- 1) 産業の基盤となる基礎学力を身に付けようとする資質・能力。(特に国数英)
- 2) 多くの情報から必要に応じて、価値を見極め、自ら収集し選択する資質能力。そして、時には対価を払ってでも自己投資をすることができる資質・能力。
- 3) 技術革新を起こすことのできる資質・能力。または、それを素直に受け止め、柔軟に対応し、意欲的に取り組もうとする資質・能力。

【園芸高校生として備えるべき資質・能力】

II 生活面

- 1) 「失敗は成功へのチャンス」として、失敗を恐れず、責任を持って最後までやり遂げようとする資質・能力。そして、規則正しい生活の中で、体力向上を目指しながら、困難を乗り越えることのできる資質・能力。
- 2) 自ら進んで挨拶を行い、他者を思いやり、尊重し、そして仕事を通じた社会貢献を主体的且つ協働的に取り組もうとするために必要な、コミュニケーションのための資質・能力。
- 3) 生物関連産業を支える人間として、全ての命に対して敬意を払い、倫理観・規律遵守の意識を持って仕事に取り組もうとする資質・能力。

【目指すべき生徒の将来像】我が国の生物関連産業を支える人間

【園芸高校生として備えるべき資質・能力】

III 進路面

- 1) 生物関連産業を支える人間として、勤勉に取り組もうとする資質・能力。(特に、「人柄が良い」「熱意を行動で示す」「伸びしろがあると思わせる」という、どの仕事においても求められているであろう人物を育む。)
- 2) 専門の技を極めるために「真似る力」「段取る力」「伝える力」を身に付け、社会的・職業的に自立しようとする資質・能力。
- 3) 時代や社会の変化に伴う課題の意義や背景を客観的に捉え、その変化に対して「適応」できる資質・能力。

【資質・能力の三つの柱に基づく育成すべき資質・能力】

学	生	進	知恵・技能(何を知っているか、何ができるか)
1	2	2	普通科目における基礎学力(基礎学力): 高等学校卒業までの間に身に付ける学力
2	1	2	社会的課題に関する知識・理解: 世界・社会の状況の変化やその課題を理解するための知識を身に付ける。
3	1	2	専門分野に関する知識・理解・技術
2	1	1	学ぶ態度(主体的な学び)
1	1	1	体を構成するバランスの良い栄養素の摂取、学力向上を支える体作りを日々実践する
学	生	進	思考・判断・表現力(知っていること、できることをどう使うか)
2	2	1	コミュニケーション能力(対話的な学び)
3	3	3	思考・創造力: 物事を論理的に考え、幅広く考えることができる。
2	2	3	他者との協働力: 異文化・異なる感覚の人・異年齢等を乗り越え、仲間と協力・協働しながら互いに高めあえる行動が取れる。
		2	マネジメント基礎力: 自分や組織での取り組みを計画性を持って進める素養がある。
2	2	2	表現力
2	3	3	情報活用力
1	1	1	集中力
1	1	1	継続する力
2	2	1	積極性
2	2	1	聞く力がある(コミュニケーションの第一歩)
学	生	進	学びに向かう力・人間性(どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか)
3	1	3	知的探究心(深い学び)
3	1	3	前向き・責任感・チャレンジ: 自分を意味のある存在として考え自信を持ち、課題解決のために自分の役割を見つけ、全力で取り組み、決してあきらめず遂行できる。
3	2	3	寛容さ: 異文化や考えの違う他者を受け入れ、思いやるあたたかさを持ち、協調して共に高めようすることができる。
3	1	1	良心性: 社会を支える当事者としての意識を持ち、より良い生活を他者との関係性の中で構築できる。
3	3	3	自らを振り返り変えていく力(メタ認知): 自分の言動や行動を俯瞰して見つめ直し、常に改善しようとする意識を持ち、次の行動に繋げることができる。
1	1	1	基本的な生活習慣(早寝早起き朝ご飯)
		3	集団行動
		1	責任感
		3	倫理観
		2	他者の尊重
		3	公共心
		3	自分を客観視できる、自己分析できる